

6. 養殖魚安定生産・供給技術開発委託事業 (抜本的な生産コストの抑制手法の開発)

宮原治郎

本プロジェクトは、(国研)水産研究・教育機構中央水産研究所を中核機関として、東町漁業協同組合、鹿児島県水産技術開発センター、愛媛県農林水産研究所、東京海洋大学、総合水産試験場が参画し、主要な養殖魚種であるブリ及びマダイについて、低魚粉配合飼料の導入、給餌量や給餌頻度の削減等により養殖コストを抑制する実証試験を行うとともに、実際の養殖

規模でのコスト抑制技術を実証し、普及につなげることを目的とする。

本年度は、マダイ1才魚については、低魚粉飼料の実証試験を県内養殖漁場で、ブリ1才魚については、無魚粉飼料から通常魚粉飼料に変更する試験を総合水産試験場で行い、成長やコスト削減効果等を検証した。

(担当：宮原)